

シドニー日本クラブ
第 456 号

JCS だより

1・2月合併号
2024



2024年新年のご挨拶

シドニー総領事/JCS名誉会長 徳田修一
シドニー日本クラブ会長 渡部重信

親睦の会新年会は2月10日(土)開催
JCS日本語学校三校は2月3日(土)新学期開始
本誌新コラム「復活・手抜きの女王」「ここが気になる」「My Favorite Photo」
人物紹介「キラリと光る」◎反田恭平さん
新年号記念◆読者プレゼント!



2024年新年のご挨拶



シドニー日本クラブ名誉会長
在シドニー日本国総領事 徳田 修一



シドニー日本クラブ会長
渡部 重信

シドニー日本クラブの皆さま、新年おめでとうございます。
2024年の最初の「JCSだより」の発行にあたり、御挨拶申し上げます。

シドニー日本クラブ(JCS)が長年にわたりシドニーそしてNSW州全体で、日本人コミュニティの交流と親睦、現地社会との相互理解に多大な貢献をされてきていることに心から敬意を表すると同時に、深く感謝申し上げます。昨2023年は、JCS創設40周年という記念すべき年でした。記念式典の成功をお祝いするとともに、素晴らしい式典にお招きいただいたことに感謝申し上げます。

私自身は、総領事としての勤務を始めて1年3ヶ月が経ちました。昨年の念頭の挨拶では、当地で「普通の」生活や行事が行われていることを幸運に思うと記しました。この一年を通じて、コロナ禍の中で蓄積していたエネルギーを基に、「普通」以上に街がさらに活気を有しているように感じます。様々な分野で日本関連・日豪関係の多くの行事が行われ、日本人の皆さまが活躍されている様子を拝見し、心強く感じました。特に、昨年6月の裏千家の千玄室大宗匠の訪問に同席できたことは光栄でした。

私自身は、「お役に立てるならどこにでも行きます」という思いで、お誘い頂いた行事に積極的に顔を出しています。そのことを通じて、日本人コミュニティの存在感を高めることに貢献するよう、励んでいるところです。日本の食や観光をオーストラリア人に紹介する行事も数多く行われています。日本へのオーストラリア人観光客の水準は、すでにコロナ前の水準を超えました。日本に対する関心と親近感の現れとして心強く受け止めています。本年は、カウラ日本人捕虜集団脱走事件80周年にあたりますので、多くの方々で慰霊式典に参加されると想像します。

幸い、昨年は、シドニーで大規模な事件・事故は発生しておりませんが、気を緩めることなく、当地の日本人の皆さまが安心して暮らせるよう、快適な領事サービスの提供に努めてまいります。

本年も皆さまと一緒に日本人コミュニティそして両国関係を盛り立ててまいりたく、どうぞよろしく願い申し上げます。

皆さまにとり幸多き一年となることをお祈り申し上げます。

シドニー日本クラブの皆様へ新年のお慶びを申し上げます。

昨年度は、当クラブが創設40周年を迎え、その記念イベントを多々企画開催することが出来ました。3月12日には日本国大使公邸訪問をメインとしたキャンベラ日帰りバスツアーを催行、4月15日にはカウラ市に寄付した桜の記念植樹式に出席、同月28日には徳田総領事を始め来賓の皆さまと共に多くの会員の皆様が集い、シドニーで歴史あるRoyal Automobile Club of Australiaで40周年をお祝いするレセプションを盛大に開催致しました。そして9月9日は恒例となったチャッツウッドでの日本祭をこれまでにないほどの観客を集め成功裏に開催することができました。中心となって活動して下さった理事はじめ関係各位に深くお礼申し上げます。次第です。

一方で悲しいお別れもありました。9月には保坂佳秀初代会長が、そして10月には宮下義夫第七代会長が逝去され、両氏のご家族に深くお悔やみの念を表すると共に、JCSの歴史のターニングポイントを迎えていると感じたことでした。

JCSの行事は今年も元気に開催される予定です。恒例のオーバンでのフェイト(7月)や、チャッツウッドの日本祭り(9月)、そして年末には忘年会を行う予定にしております。皆様のご協力、ご参加を宜しくお願い申し上げます。

「日本文化の定着と維持に努め、他の諸民族の人たちとの相互理解の向上を図ること」を掲げている会として、日本語学校の運営には特に力を入れています。生徒達は週末には日本語のみならず文化や習慣も学び、卒業した暁には日豪両国の相互理解のために将来大きな役割を果たしていくことでしょう。そうした次の世代のサポートができることを大変嬉しく思うと共に、学校関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

当会には他にも、親睦の会をはじめ各種クラブがあり、それぞれがコミュニティを盛り上げるために活躍して下さっています。各クラブの皆様にも大きなエールを送りたいと思います。すべてのJCSに関係する皆様のご協力を頂いていることに感謝しつつ、今年も日系社会を盛り上げていきたいと思っております。2024年がJCSにご縁のある皆様にとりまして素晴らしい年となりますことを念願し、新年のご挨拶とさせていただきます。

理事会から

- 2023年12月定例理事会 12月6日7:30-9:00pm(ドカティセンターとZoom)
- 出席: 渡部、コステロ、水越、松隈、斉藤、多田、ホジュキンソン、石山(zoom)
- 欠席: 野田領事、チャーカー、リヒター、阿部、小柳、林、マーン
- 会員世帯数: 346世帯(一般82世帯・学校264世帯)
- 次回理事会: 2月7日(水) 19:00(対面・Zoom)

◆PL保険料負担金について

○Public Liability保険料負担金について、フラアロハとソーラン隊につき\$50から\$55への変更を承認。また、学校も必要とあれば支払う。2月までに金額の詳細を詰め、理事会の議題に上げる。

◆ソフトボール大会報告

○11月12日にSt Ivesにて開催された第89回春季ソフトボール大会(シドニー日本人会主催)に12チームが参加。JCSソフトボール部は準決勝で今回優勝したブラック☆パンサーズに惜敗したが、3位決定戦でレクスアズに勝利して3位入賞を果たした。

◆2024年度の理事会予定

○今年度の対面理事会は下記日程でドカティセンターの予約を申請中。すでに割引料金が承認されている。

【対面理事会日程】2月7日、6月5日、7月3日、8月7日、9月4日、11月6日、12月4日(いずれも7-9pm)

また、年次総会の8月17日(土)3-4pmの予約も申請中。

【Zoom理事会日程】3月6日、4月3日、5月1日、10月2日。
※混乱を避けるため、Zoomの理事会開始も7pmとする。

◆その他

○会費納入届は紙ではなく、オンラインのフォームに変更してはどうか。→当分両方で行い様子を見る。

◆学校からの報告

●シティ校: 15クラス、生徒数198名、133世帯

4学期4週目には、幼児部スピーチ発表会がクラスごとに保護者を招待して行われた。堂々としてしっかりスピーチ発表しており、子どもたちの成長がとても感じられた。5週目には、来年度の委員、サポート係の選出が行われ来年度に向けて準備を開始している。クラス編成と来年の教員に関して調整が整った。来年は、特別支援クラスが午前中の開催となり16クラス体制になる。

11月25日には、10年前のコスモス組(担任: 朝倉先生)の生徒がタイムカプセルを開ける日で、授業終了後に当時の生徒と保護者が集まった。日本から駆けつけた生徒もいて久しぶりに皆に会った喜びと、10年前の自分からの手紙に感激していた。生徒達は立派に成長していて、今でもしっかり日本語で会話をしていたことがとても印象的で感動しました。本当に素晴らしい企画でした。

4学期から結成されたJCS日本語学校シティ校ソーラン隊は、ゴルト良子先生にご指導頂き11月26日にクリスマスインピアメントにて立派にパフォーマンスを行った。シティ校は、ヨーヨーと金魚すくいのブースを出店し532ドルの収益をULTIMOコミュニティに寄付をした。



12月9日は終了式と卒業式が行われる。卒業式では、徳田総領事に祝辞を述べていただく。今年も教員、アシスタント、委員、サポート係、保護者の皆さんのお陰で無事に終了できることに感謝申し上げます。

●ダンダス校: 10クラス、生徒数134名、89世帯

来年度のクラス編成も終了し、4学期最終日の校内発表会に向けて歌やダンス、朗読など各クラス色々な練習をしている。来年度役員業務の引継ぎも始まり、校内また事務室も忙しい雰囲気となっている。残すところ数週となり来年度への準備も前倒しで進めている。

来年度への校舎借用契約の更新も行われたが、教育省の規定が変わったとのことで、3年分の契約更新をすることができた。来年度から使用教室数も増やしてもらうことに。実は開校から15年目であったこともあり、備品なども少しアップグレードする予定。

今年も2名の卒業生を送り出すこととなり、この4、5年間、途切れることなく卒業生を出せているということに学校としても誇らしく感じている。

●エッジクリフ校: 5クラス、生徒数53名、42世帯

12月9日は四学期最終日です。終業式のあとはエッジクリフ校恒例のお楽しみ会です。毎年各家庭から自慢の一品料理を持ち寄り、子どもたちにはスイカ割りやヨーヨーすくいなど、日本の夏！を楽しんでもらいます。今年も国際クラス(日本語バックグラウンドではない家庭の生徒達)の家族も多く参加する予定で、日本語クラスの生徒や保護者とも交流する良い機会となりそうです。国際クラスの家族の中には日本に馴染みのある方が多く、「日本で暮らしているときに覚えた”唐揚げ”を作って持っていくよ！」と今から意気込んでいるお父さんもいます。

来年新学期は2月3日からですが、新入生は8人を予定しています。毎年、先生の確保が課題ですが、応募がなければ来年度はクラス統合などでやりくりする予定です。



シドニー日本クラブ(JCS)は、オーストラリアに住む日本人および日系人家族の親睦を図り、オーストラリア社会の一員として日本文化の定着とその維持に努め、また他の諸民族の人たちとの相互理解の向上を図ります。

シドニー日本クラブの組織について



シドニー日本クラブへの入会について

シドニー日本クラブ (JCS) は、オーストラリアに住む日本人および日系人家族の親睦を図り、オーストラリア社会の一員として日本文化の定着とその維持に努め、また他の諸民族の人たちとの相互理解の向上を図ることを目的に、活動しています。会に入会をご希望の方は、以下の入会案内を参照してください。

入会案内

入会をご希望の方は入会申込書に必要事項を記入のうえ、入会金と年会費を添えて JCS事務局までご返送ください。入会申込書はウェブサイトからダウンロードできます。

- ①入会申込書に、入会金 \$33 と年会費 \$70 の合計金額の小切手を添えて、事務局までご送付下さい。現金は受け付けておりません。海外会員・法人会員の場合は入会金なし、年会費 \$110 (GST 含む) のみです。
- ②入会金及び年会費の銀行振込は、以下の口座宛にお願いいたします。その際、必ず名前をお知らせください。
- ③住所・家族構成に変更があった場合は、会報送付の宛名用紙の「登録事項変更届」に記入のうえ、事務局までお送り下さい。または、メールにてお知らせください。(Email : jcs@japanclubofsydney.org)
- ④入会金・年会費は変更される場合があります。

If you want to join the JCS, please fill in the application form and send it with an appropriate cheque to: Japan Club of Sydney PO Box 1690, Chatswood NSW 2057. If you have any queries, please call on 0421-776-052.

- (1) Please fill out the form & send it to the address above with a cheque or money order for the joining fee \$33, the annual membership fee \$70, total \$103 (inc.GST). DO NOT send cash. For overseas members or corporate members there is no joining fee but the annual membership fee is \$110.00 (inc.GST).
- (2) For EFT payment, please pay the bank transfer of joining fee and annual fee to the following bank account. In that case, please be sure to let us know your name.
- (3) Should there be any change in your address etc, please let us know without delay c/- the above address or email to us.
- (4) Please note that both the joining fee & the annual fee of the Club are subject to change without prior notice.

会員登録更新がまだの方

お知らせ

シドニー日本クラブ (JCS) の会員資格は毎年更新されます。会員資格の期間は、毎年1月から12月の1年間です。会員を継続される場合は、年会費 (70ドル) をお支払いいただきますが、既に入金締切日を過ぎています。会員継続を希望される方は、直ちに年会費のお支払をお願いします。

なお、会報誌「JCSだより」は2024年から電子版のみの配布となりますので、ご承知おきください。

振込先は、Japan Club of Sydney Inc. (BSB No: 032-002 Account No: 51-3156) です。振込時に、会員名と電話番号をDescription/Reference欄に入力して下さい。

www.japanclubofsydney.org

JCSのクラブライフ



シドニーソーラン踊り隊

毎週土曜日に小学校の体育館で練習をしています。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと様々なイベントで踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

練習日:毎週土曜日2時～3時

場所:Cammeray Public School(Palmer Street, Cammeray)

お問い合わせは、Email:jcs.soran@gmail.com まで。

<http://sydneySORAN.wix.com/dancetroupe>



JCSフラアロハ・ハワイアングループ

JCS Hula Aloha Hawaiian Groupは、明るく楽しく美しく、生き生きと生きるをモットーに踊っています。

楽しく踊って元気になりませんか？

ご興味のある方、先ずはご連絡下さい。

見学歓迎。年齢は問いません。

練習日:毎週火曜日午前11時～12時30分

場所:Dougherty Community Centre, Chatswood

お問い合わせ:e-mail:jcshulaloah@gmail.com Ayaまで



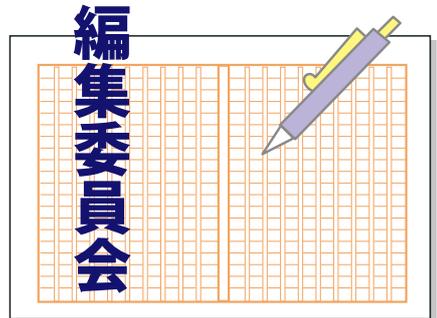
JCSソフトボール部

ソフトボール大会は毎年5月と11月の2回開催しています。2023年の秋季大会は2位、春季大会は3位でした。

JCSソフトボール部では女性選手を急募中です！一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール:adasada@hotmail.com または、

電話:0402-048-570 (ソフトボール部部长 ^{さだのり} 安達定儀)



編集委員会

シドニー日本クラブの会報誌「JCSだより」を編集しています。会員からの投稿をお待ちしています。

また、誌面作りに興味のある方、一緒に会報誌を作りませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール:k.murn@jcs.org.au (JCSだより編集長 マーン薫)



教育支援委員会

シドニー日本クラブの日本語学校三校の運営に関する支援を行っています。その他、継承日本語教育についてのセミナー活動なども行っています。

お問い合わせは、以下までお願いします。

メール:jcs@japanclubofsydney.org または、

電話:0421-776-052 (JCS事務局)

編集委員会を開催



12月10日(日) Chatswoodのタイレストランで編集委員会を開き、2024年の表紙、新連載、新企画など話し合いました。今回の編集委員会で、編集長が渡部重信会長からマーン薫理事に交代しました。「JCSだより」は、2024年度からはデジタル版のみの配信となります。今後の「JCSだより」にご期待ください！

「JCSだより」新編集長 マーン薫

新編集長挨拶

12月から渡部会長の重責を引き継ぐことになりました、マーン薫です。渡部会長、15年近くもの長い間編集長を務めてくださり、本当にどうもありがとうございました！お疲れ様でした！

私が最初に編集長をやらないかと打診された時、「編集長の仕事は、まず一番に原稿の締め切りが遅い方に催促をすることです」と言われ、「そうなんだ、それならできるかも」と軽い気持ちでお引き受けしました。(笑)が、いざ編集長の仕事を少しずつ始めてみると、いろいろな仕事があって、新しい発見をしています。会員の皆様に、引き続き楽しんでいただけるような会報をめざして、がんばります！

読者の皆さんからのご提案、ご意見、大歓迎です。どうぞよろしくお祈いします。(マーン薫)



◆州立美術館展覧会入場券プレゼント！

本誌「JCSだより」の読者であるJCS会員の皆様のうち4名の方に、現在Art Gallery of NSW (<https://www.artgallery.nsw.gov.au>)にて開催されている展覧会「Kandinsky展」(3月10日まで開催)のチケット2枚と、「Louise Bourgeois展」(4月28日まで開催)のチケット2枚の合計4枚を抽選で差し上げます。

希望者はEmailにて、①お名前(JCS会員名)、②通知するメールアドレス、③「Kandinsky展希望」か「Louise Bourgeois展希望」を明記してください。



<https://www.artgallery.nsw.gov.au/whats-on/exhibitions/kandinsky/>

以上3項目をタイプして jcs@japanclubofsydney.org まで送付してください。応募は会員お一人様につき、1通とさせていただきます。締め切りは2月7日午後6時です。その日7時から行われる理事会にて抽選を行い、当選者へ連絡いたします。



<https://www.artgallery.nsw.gov.au/whats-on/exhibitions/louise-bourgeois/>

◆永田朝子さん著書プレゼント！

2023年10月に出版された永田朝子さんの3冊目の著書『シドニー発、ハッピーリタイヤ女ひとり旅—出会いが紡ぐ私の人生』を、著者サイン入りで1名様にプレゼントいたします。締切は、2月29日。

件名に「JCS本のプレゼント係」と書き、①お名前、②携帯番号を書いてこちらのメールアドレスにお申し込み下さい。 hikaru.6343@gmail.com

当選者には、3月上旬にご連絡をさせていただきます。お楽しみに。



親睦の会 だより

会員
募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後は、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

親睦の会役員

会長:林さゆり 副会長:ピアス康子 会計:加藤真理 事務局長:ピアス康子
ボランティア:朝比奈富美子、カーター洋子、斉藤なお子、竹内美佐子、橋本克子、ヨハンソン治子 (五十音順)

◎Aグループ担当:竹内美佐子 Email: stormeads@gmail.com ◎B・Cグループ担当:朝比奈富美子 (Tel: 9453 0058) Email: fumikopixie@gmail.com

「新年会・おせち料理でお正月気分」

■日時:2024年2月10日(土) 12:30~14:30

■会場:ドガティセンター(チャッツウッド)

The Dougherty Community Centre
7 Victor Street, Chatswood

■お食事代:2段重ね特製おせち御膳 55ドル

■会費:(ワイン・緑茶・コーヒー・紅茶、ココア、会場費込)

親睦の会会員 5ドル

親睦の会非会員(JCS会員) 10ドル

JCS非会員ビジター 15ドル

■申込みメ切り:1月29日(月)

各グループの担当者まで出欠およびおせち御膳の注文数をお知らせ願います。(各グループの連絡先は、冒頭をご参照下さい。)

おせち料理に欠かせない重箱には「幸せを積み重ねる」という意味があるそうです。2段重ねのおせち御膳を頂きながら、新年の招福となるよう、大いに笑って賑々しく新年をお祝いしたいと思います。

書き初めやゲームなどで盛り上がり、日本のお正月気分を味わって頂きたいと願っております。ご家族、お友達をお誘いになってお越しください。

【お知らせ】

■印刷された「JCSだより」が、今までご自宅に郵送されていた会員の皆様にお知らせです。

2024年初回から、郵送は無くなり、電子版(デジタル版)だけになります。JCSのウェブサイトでも、デジタル版がお読みになれますが、メールアドレスをJCS事務局にお届けになっている会員は、毎月「JCSだより」のご案内がメールで送られてきます。

デジタル版のダウンロードは下記です。

www.japanclubofsydney.org

■JCSシドニー日本クラブ年会費納入期限は、2023年12月31日でした。

郵送で「JCSだより」を受け取っている方は、会報と共に会費納入届用紙が届いていると思います。会員資格更新のための年会費納入時に、「会費納入届用紙」を事務局宛にお送りください。お支払い方法は、「会費納入届」に詳しく記載されています。また「会費納入届用紙」には、忘れずに、メールアドレスと親睦の会会員とお書き入れください。毎月の「JCSだより」がサイトにアップされた際に連絡が送られてきます。

ご不明点等ありましたら、JCS事務局までお問い合わせください。

事務局電話(9am~6pm):0421 776 052

事務局メール:jcs@japanclubofsydney.org

■2024年初回の「JCSだより」は、1月と2月の合併号となります。

■3月例会は、3月9日(土)を予定しています。





新年度スタート！

新年あけましておめでとうございます。皆様はどのような休暇を過ごされたでしょうか？

昨年度末に行われた修了式・卒業式は猛暑の中での式となりましたが多くの皆様にご列席頂き、盛大に一年間の学習の締めくくりと卒業生の見送りが出来ました。ご列席を賜ったシドニー総領事からもとてもいい式だったとのお言葉を頂きました。



昨年は様々なイベントを通じ、それぞれのクラスごとのつながりだけでなく学年の垣根を超えた交流を持つことができた一年間でした。今年も子どもたちが楽しみながら充実した日本語学習をしていける環境づくりを行っていききたいと思っております。

新年度は新入生クラスを二クラスほど迎えさらに賑やかとなるシティ校。新しく始まる学校生活に胸を躍らす新入生、そして夏休みの思い出を楽しそうにお友達に話す在校生の姿を見られる一年の始まりとなることでしょう。

新年度のクラス名は「どうぶつ」がテーマとなりました。オーストラリアならではの動物や架空の動物の名前がついたクラスなど個性あふれるラインナップとなっております。それぞれの子供たちがどんな飛躍を見せてくれる一年となるのか今からわくわくしています。

クラス紹介 鳳凰組

明けましておめでとうございます。

日本では元日から能登半島地震、2日には羽田の飛行機事故と立て続けに大きな災害や事故が続き、まれに見る辛い幕開けの年となってしまいました。始まったばかりの2024年を日本でオーストラリアで世界中で、人々が皆穏やかに平和に過ごせますよう、戦争ももう終わらせられますよう心から願ってやみません。どうかどうか良い年になりますように。

さてJCS日本語学校も新しい年を迎えました。シティ校の最高学年である旧シリウス組は今年は鳳凰組と名前を改めました。2024年のクラス名は「動物」というTC会議での決定を受けて、12月初めに例によってクラス全員

で話し合っ決めてました。もう何年も前年の終わりに次の年の名前をみんなで決めていきます。これまでは、ざっと「すばる」「龍」「霧島」「泰山木」「じんべい鯰」「豹」「金木犀」「翡翠」「杏子」「シリウス」と高学年らしいなかなか格調高い美しい名前が続いてきました。今年はどんな素敵な名前を子供達が考えだしてくれるのか、わたしの楽しみでもありました。ところが、当日出てきたのは「蚊」



「ハエ」「タコ」etc. etc. 特に「タコ」は大人気で危うく決まりそうになりました。「タコ組」。でもタコって、人をさげすむ時に使う、いわば差別語でもありますよね。そんな嫌な使い方を知らないで、漫画的なかわいいイメージでタコタコという子供達に「タコという言葉は、実はこんな嫌な使い方をする汚い言葉でもあるんだよ」とタコという言葉のブラックな面を話していいものかどうか、困りました。要するにわたしは「タコ組」はどうしても避けたかったのですが、その理由をうまく言えなくてしどろもどろでした。もう、これまで使ったことがない伝家の宝刀、担任の強権を発動して「とにかくタコはだめ！」と押し切ろうかと思い始めた時、一人が「鳳凰は？」と言い出しました。一瞬、(鳥は動物か？)(そもそも実在しないだろうが)と頭をかすめましたが、とにかくタコよりうんと格調高い言葉「鳳凰」に飛びつきました。フェニックスとも呼ばれ、手塚治虫の名作『火の鳥』のことであり、幸せをもたらす想像上最高の鳥であることなどを伝えて、めでたく全員一致で「鳳凰組」に決まりました。めでたし、めでたし。(ああ、1000字ですのでもう字数が…)

鳳凰組は、高取灘くんが昨年卒業して一人減り、南十字星組から二人を迎えて今年は12人でスタートします。うんと楽しい1年にします。

(担任:朝倉則子)



JCS日本語学校ダundas校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School (85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 PO Box 1072, Dundas, NSW 2117 電話 0411-734-819 授業 毎週土曜日 / 9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

新年のご挨拶を申し上げます。2023年、ダundas校はコロナ禍以前に行われていた通例行事の再開を試み、全てを無事にとり行うことができ、多忙ながらとても有意義な一年となりました。皆で一つずつ行事に取り組むという事は、日本文化を学ぶ上で、大きな一部を占めていると感じさせ、兎年にふさわしい飛躍の年となりました。今年2024年は辰年、竜のように力強く、更に高くまで登るような気持ちで一年目標の達成を目指せるよう過ごしたいものです。

2023年校内発表会

第4学期最終日は、卒業式、終業式に加えて、校内発表会も開催されました。この日のために、先生、生徒、保護者、イベント係、役員が一丸となり、発表内容を検討し準備を進め、一生懸命練習を重ねました。当日は40度を超える大変暑い中での開催となりましたが、トップバッターを銀河組が努め、自作の俳句を発表しました。自分の体験を基に作った微笑ましい俳句のそれぞれは、まだ発表会始めの緊張感のあるホールを和やかにするのに十分なものとなりました。それ以降も、各クラスが工夫を凝らした発表を披露し、歌、マジックショー、観客を巻き込んだなどクイズなど、一年間学んだ日本語をふんだんに使った発表が続きました。そして最後は恒例の大河組のハンドベルで締めくくられ、大きな拍手と共に幕を閉じました。大きい生徒さんの発表を、まだ幼い幼児部の子どもたちがキラキラした真剣な目で鑑賞する姿は何とも愛らしく、またこれから日本語を学ぶ上で大きな目標となってくれたことでしょうか。今回もこの一年での生徒たちの成長を大きく感じられる会となりました。また会場には、ダundas校同窓生の姿もあり、毎週土曜日のクラスで共に学び、培った仲間の繋がりや強さを改めて感じられる一日となりました。

今年は、ダundas校から大河組のガノン宮香(みやか)さん、モイズ賢人(けん)さんが卒業されました。宮香さんはダundas校で15年、賢人さんは8年を過ごされました。現地校での勉強や課外活動がある中、Year 12の卒業まで日本語を学び続け、卒業するのは簡単なことではなかったはずですが、またその時間を割き、送迎やサポートを惜しまなかったご家族の労力も讃えられます。卒業後もそれぞれの進む道で、さらに活躍されることを在校生、スタッフ、保護者一同、心から願っています。



2024年のダundas校

ダundas校は今年も新しく13世帯のご家族を迎える事になりました。生徒数の増加に加え、ダundas校が創立より15年が経ってきていることより、在校生の年齢のバランスも様変わりしてきています。小学生高学年から中学、高校生にあたる年齢の生徒数も増え、クラス編成にも少しずつ幅を持たせる必要性が増してきています。そのため、2024年1月より「清流(せいりゅう)組」が新設され、これまで何度もクラスの代講を務めてくださった山根ゆう子先生が担任に着任されました。清流組は山河組と大河組の間のクラスとなり、Year 8からYear 11の生徒が教科書6年生レベルの学習終了を目指します。そして既存の大河組では、主に中学校レベルの内容を扱って学習することとなっています。

清流組、山根ゆう子先生からのご挨拶

皆様、初めまして、山根ゆう子と申します。この場を借りて自己紹介させていただきます。

私は両親の元に三人兄弟の第二子として大阪で生まれ育ちました。現在23歳の娘と21歳の息子、そして夫と4人で暮らしています。

教える時に気を付けていることは、教師というよりも、母親の立場にいることです。子どもたちが少しでも継承語学習を長く続けられるように、手助けをさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

(事務 根岸)





2023年度も無事終了

4学期の最終日はエッジクリフ校恒例のお楽しみ会！クラス発表やちょっとした夏祭りの雰囲気を取り入れた出店(風)など、親子で一緒に楽しめるとても和やかな時間となりました。全校生徒(+大人達も)の1番の楽しみは、1家庭1品の持ち寄りお食事会ではないかと思ひます。毎年同様、各家庭の自慢の味が並び、みんなお腹一杯、大満足でした。

かしわ組(幼児部クラス)

毎週授業の始めに歌っている、『あいうえおの歌』を元気いっぱい歌った後で、ぼく・私が好きなのを書いた絵を見せながら、その物の名前を大きな声で発表することができました。好きなものに国旗を描いて、「日本が好きです！」と言ってくれた生徒もいました。いつまでも、日本を愛する心を持ち続けて、今年も楽しくお勉強を続けてくれることを願っています。



【本】:【木】の下で【一】さつ【本】を読む

【習】: 学校で国語を【習】っているとき、【白】い【羽】を動かしている鳥を眺める。

漢字を楽しく学習している成果が出ていて、全校生徒が「ほお〜！」と感心の声が上がっていました。



さくら組(国際クラス)

日本のバックグラウンドを持たない子供達はなんと日本語で「大きなカブ」の劇に挑戦しました。たくさん練習した成果もあって、それぞれが自分のナレーションやセリフをしっかりと発音し大きな声で言うことができました。最後は全員で力を合わせて、大きなカブを「すっぽーん！」と抜くことができ、会場も大盛り上がり。今年も益々日本語力をつけて年末の発表会でその成果を見せてくれることを期待しています！



ひのき組(小学部1)

ダンスが得意なひろみ先生の指導のもと、日本の誰もが知っているであろう『パプリカ』を上手に踊り上げてくれました。女の子達は正確性重視、男の子達はオリジナリティー重視で個性あふれるダンスで場の笑いを誘ってくれました。何より全校の前で恥ずかしがることなく、堂々と踊り上げてくれたことに感動しました。



かえで組(小学部2)

クラスの子供達が得意なクイズを各クラスのレベルに合わせて作成し、出題してくれました。知恵を絞った面白い問題がたくさんあり、大人達も思わず「むむむ…？」と頭を抱える場面も見られました。さすが小学部の子供達です！子供の脳みそはやっぱり柔らかい！発想の力があるなぁと思わされる発表でした。



つばき組(小学部3)

エッジクリフ校で一番上のクラスの子供達らしく、漢字で足し算・引き算作文を披露してくれました。

2024年度が始まります！

エッジクリフ校ではここ数年、保護者会での意見や先生方との話し合いから学校全体の目標を立てています。2022年「発信する力:会話力をつけよう！」2023年「国語以外の教科を授業に取り入れて、様々な角度から日本語を学ぼう！」

このような目標に沿って先生方が意見を交換しながら、工夫をこらして授業を計画してくださっています。

今年も2023年同様に、様々な教科を授業に取り入れて、使える日本語学習指導を念頭において、子供達がさらに楽しく身のある学習ができるように前進していきたいと思っています。

復活

手抜き の女王

新連載



デジタル版会報の読み方

満を持して手抜きの女王復活しました！編集委員会で新たなコラムの検討中、昔あった人気コラム(?)を復活させる話が持ち上がりましたので、性懲りもなく戻って来ました！当時からJCSだよりを愛読して下さっている会員の皆様は、まだかすかに記憶に残っているかもしれませんね。前回連載していたのが早くも20年以上前のこと。時のたつのが早すぎて恐ろしいです。当時同様、あまり気負わず、ほどほどにじわじわと書いていきたいと思しますのでよろしくお願いいたします。

さて、JCSだより、今年からついにデジタル版のみになってしまいましたね。今まで印刷版に携わって下さった皆様、長い間お疲れさまでした。私はベッドで横になって会報を読んだりしてたので、印刷版は有難かったです。

初めてデジタル版のみになると聞いた時はちょっとがっかりしましたが、我が家にはTablet Floor Stand Holderがあることを思い出しました！ご存じの方もいると思いますが、携帯やタブレットを挟んで、好きな高さや角度に調整して見ることができます。もちろん下向きに傾けても落ちてこないのが、手で持って見なくて良いのが最高です。新年早々横着ですみません。



外食 日記



Farsi Restaurant

住所: 20A Church Street, Ryde NSW 2112

電話: (02) 8964-6337

予算: \$40

営業時間: 火~日 12:00-21:30 月 16:00-21:30

雰囲気 7、料理 7、サービス 8



今月はRydeのイラン料理です。以前付近のNikanというペルシャレストランに行って美味しかったので、比較のために2名で訪問しました。お店の内部は外からは見えず、ドアを開けるとNikanよりも落ち着いた雰囲気の店内に入りました。注文したのは、Kashke Bademjan (Eggplant dish)、Gheymeh Nesar Qhazvin (Meat and tomato sauce with dried berberis, pistachios, almond, dried orange served with rice)、Kufuteh Berenjei (Minced meat, mixed with cotyledon, rice, plum served with aromatic vegetables: 写真)。前菜とメインを一品頼んだ後でもう一品追加したのですが、結果的に2名で前菜とメイン一品をシェアしても十分でした。パンと付け合わせのバターにミントとナッツが入っていて美味しかったです。茄子の前菜は、ほろ苦い味とヨーグルトの酸味が合っていました。ラムはスロークックで柔らかく煮込まれていました。ミートボールは大きなものが2つ出てきます。中にはプラムが種ごと幾つも入っているので、少々食べづらかったです。

総領事館からお願い(在留届の提出)

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館又は総領事館等に「在留届」を提出することが義務付けられています。大規模な災害が発生した場合など、当館では、オーストラリアの関係当局に連絡を取って邦人の被害について確認をする一方、在留届を確認して該当地域にお住まいの方に、直接ご連絡を差し上げ安否を確認することがあります。在留届は、このような災害時の安否確認のためにも使用いたしますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には「変更届」を、帰国の際には「帰国届」をご提出いただくようお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>



Installation of Louise Bourgeois 'Maman' at the Art Gallery of New South Wales, November 2023, photo © The Easton Foundation/Art Gallery of New South Wales, Felicity Jenkin



Installation view of the 'Louise Bourgeois: Has the Day Invaded the Night or Has the Night Invaded the Day?' exhibition, 25 November 2023 – 28 April 2024, at the Art Gallery of New South Wales, photo © The Easton Foundation/Art Gallery of New South Wales, Felicity Jenkins

ルイズ・ブルジョワ展

この夏、NSW州立美術館では素晴らしい特別展が2つも開催されています。南館で行われている「カンディンスキー展」はすでに1月末より無料の日本語ツアーが始まっています。そこで今回は3月から開始されるもうひとつの日本語ツアー、「ルイズ・ブルジョワ展」(北館で開催中)についてご紹介します。

現在、南館の前にすべての来館者を待ち受けているかのように巨大な蜘蛛がいるのをご覧になりましたか？これがブルジョワの代表作の一つ「Maman」(お母さん)です。1999年の作品で高さは9m。鎧で武装しているかのような長い脚の間に入り、上を見上げると大理石でできた爆弾のような卵をいくつもお腹に抱えているのが見えます。一見恐さを感じさせる姿ですが、これは彼女が亡き母親に寄せる愛情を蜘蛛の姿で表現したものです。彼女の創作活動は一貫していて、家族に対する愛情を常に感じながらも、自身が少女時代に受けた心の傷を癒すための行為の連続であったとブルジョワは語っています。恐ろしい姿の巨大蜘蛛ですが、長い脚の間の空間はあなたを外敵から守り愛情を降り注いでくれるものとなる、そう考えると小さな頃に見上げた母親の姿と重なるかもしれません。

本展覧会は北館の2カ所のギャラリーで行われています。タイトルの「昼が夜を侵略したのか、それとも夜が昼を侵略したのか？」で分かるように、地下2階で「昼」の、地下4階で「夜」の展示がされています。「昼」と「夜」一相

反しながら互いに結びつき、切り離すことは不可能な両極にあるもの。彼女は常に愛と怒り、秩序と混沌、信頼と放棄、これらの両極を行き来しながらパワフルな作品を創作した、いわば昼と夜の芸術家と言えます。今回、「昼」では彼女の意識的な移り変わりやこだわりの作品が9つの部屋に分けて展示されています。その一方で「夜」では無意識の暗い風景が様々な時代の作品展示を通じて広がっています。いつも母を想って創作していた蜘蛛のオブジェは、「昼」の中に1体、「夜」の展示にも2体ご覧いただけます。それぞれの作品を通じて、母親に対する両極の想いを感じてみてください。

蜘蛛についてばかりご紹介しましたが、今回は120点以上もの作品を展示する国内では最大規模の展覧会です。どうぞ会期中に足を運んでブルジョワの絶え間ない情熱の強さ、果てしない探求をじっくりとご鑑賞ください。

※「ルイズ・ブルジョワ展(有料展)」は、4月28日まで。チケットはオンラインでも購入可能。無料日本語ツアーは3月10、17、24、31日 4月7、14、21日。午前11時より約1時間。予約は不要ですが、予め入場券はお買い求めください。集合場所は北館地下2階の展覧会場入り口前。直前に変更等がある場合もありますので美術館のウェブサイトをご確認の上、ご参加ください。皆さまのご来館をお待ちしております。

(NSW州立美術館日本語ガイド：花咲三起子)

Art Gallery of New South Wales

Art Gallery Road, The Domain 2000 Phone: (02) 9225-1700
毎日10am~5pm. 水曜のみ9時まで(アート・アフターアワー)
Web: www.artgallery.nsw.gov.au

ニューサウスウェールズ州立美術館。常設展入場無料。
本連載は美術館の日本語ボランティアガイドが担当。
件名「Japanese Tour」で、Eメールでの日本語での問い合わせ可。
Email: volunteerg@ag.nsw.gov.au



海見える理髪店

著者:荻原 浩

発行:集英社 2016年 初版

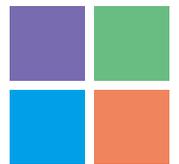
★★★★★

2016年の直木賞受賞作。海辺にある伝説の理髪店。店主の腕に惚れて有名俳優や政財界の大物が通いつめたというその店に、僕はある想いを胸に訪れる。。親子の繋がり、交差する現在と過去…。表題作を含む6編が収録されている短編集。人生の可笑しさと切なさが沁みる、大人のための“泣ける”家族小説集だ。どの話も毒が混じっていて、手放して楽しむだけの話でないのが面白かった。個人的には、表題作が一番おすすめ。

書籍

★5つ星評価

JCS アートレビュー



観賞

クリスマス・お正月休暇に、家族で「DVD何見る？」となったとき、久々に満場一致で取り上げたのがこのロマンス&アクション大長編。なんともはや27年も前の作品である。しかしこの3時間以上の超大作を「初めて観る」という

娘のボーイフレンドも、既に5回は観ている私たちも、ディカプリオ演じる若々しく勇敢で茶目っ気たっぷりなジャックと、瑞々しい麗しさと燃えるような気性と才気を併せ持ったローズとの、可愛らしく新鮮かつ激しい恋に心動かされ、続く悲劇のアクションドラマの世界へとまるで怒涛に飲み込まれていくように引き込まれて行ったのであった。いやはや、27年たってもまったく色あせない究極のロマンチックアドベンチャーですね。これ観てディカプリオ様に惚れた女子は数多。若い恋人たちにも、ややマンネリ化した中高年夫婦にもお勧めです。



タイタニック

監督:ジェームズ・キャメロン

脚本:ジェームズ・キャメロン

出演:レオナルド・ディカプリオ、ケイト・ウインスレット、ビリー・ゼーン、キャシー・ベイツ他

制作:1997年 米国 195分

★★★★★



CColumbo

アーティスト: Bruno Major

★★★★☆

イギリスのシンガーソングライターBruno Majorの三作目。彼の音楽はR&Bをベースにしながらジャズの要素を持ち、穏やかでうっとりするような独特の世界がある。7歳でギターを手にした彼はジャズも手がけ、セッションプレイヤーとして活躍していた。そして2014年にデビュー。The Show Must Go Onは切ない歌詞ながら明るさを持ったオープニング。その後彼らしいメロウで静かな世界が続くが、We Were Never Really Friendsは穏やかでありながらアップリフティングな曲。A Strange Kind of Beautifulは特にシンプルで美しい曲。2016年のEasilyという曲はオーストラリアのARIAでゴールドを受賞。2019年のNothingではUKチャートで30位となっている。静かな週末にBGMにしたいアルバム。

音楽

Dawn Reflection

昨年のオーストラリア・デーの日の出前の1枚。

毎年、この日は太陽が昇り始める前にオペラハウスにアボリジナルアートが映し出され、シドニーでのオーストラリアデーが始まります。朝5時前に起き、車をミルソング・ポイントまで走らせ、そこからオペラハウスまで徒歩で向かう途中、ハーバーブリッジの歩道から写した写真です。空が白みかけて来てかなり明るくなりかけていましたが、遙か彼方の空はオレンジ色から黄色、そして青空に続くグラデーション



を見せ、オペラハウスに映し出されたカラフルなアート作品の背景としてとても良い感じに写りました。(S)



新連載

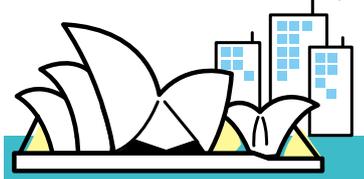
ここが気になる

私が住んでいるサバブはすぐ近くに森林があり小川が流れています。そんな所に住んでいるので朝は小鳥のさえずりで気持ち良く目が覚めます。そんな環境でしたがつい最近、早朝からうるさい犬が吠えるのが目立ち、爽やかな目覚めができなくなりました。どうやら近所に新しい住人がヤッピードッグを連れて引っ越



して来たようです。その犬を裏庭に放し飼いにしているようですが、裏庭の柵が家の横から始まっているので、犬はほぼ前庭を望むことができます。早朝に犬を連れて散歩の人が通るたびにギャンギャン吠え立てるのです。オーナーは犬が吠えているのが聞こえないのでしょうか？どうしても気になります。

シドニースケッチ



様変わりしたマスコット

マスコットは、シドニーの中央地区から南に7kmに位置するベイサイドカウンシルの行政の中心地のひとつです。セントラル駅から空港線で2つ目の駅です。

先日、久しぶりにマスコットに行って来たのですが、駅前のストリートにモダンな新しいお店が沢山並んでいるのに驚き！ました。

10年前、子どもがお誕生日に呼ばれてマスコットに連れて行きました。家に帰って、また直ぐに迎えに行くのは大変かも？と思い、駅前のカフェでパーティーが終わるのを待とうと思ったのですが、駅前にお昼に開いているカフェやレストランがありませんでした。近くに何かあるだろう？と思い、小さなコンビニに入って店主に聞いてみると、ショッピングセンターは2年後にできる予定だと言われました。

いまのこの賑やかなお店が続く通りからは、まったく想像ができませんでした。



キラリと光る

あの人・この人

人物紹介
第98回



反田恭平 さん

ピアニスト

今年最初のキラリ光るは、昨年12月にオーストラリアで初のピアノコンサートを開催されました反田恭平(そりた・きょうへい)さんです。

まずは、彼のプロフィールをご紹介します。

2021年「第18回ショパン国際ピアノコンクール」で日本人としては半世紀ぶりの最高位第2位を受賞。

2016年のサントリーホール完売のセンセーショナルなデビュー・リサイタル以降、毎年定期的にはリサイタルや国内外のオーケストラとのツアーを全国で行なっています。

2018年からは室内楽や自身が創設した「ジャパン・ナショナル・オーケストラ」のプロデュース。2021年5月にはオーケストラのための新会社を立ちあげ、奈良を拠点に世界にむけて活動を開始しています。

また、TV番組「題名のない音楽会」、「情熱大陸」などメディアにも多数出演。

2021年からは若手の音楽家とファンを繋ぐコミュニケーションの場となる音楽サロン「Solistiade」を運営。

2023年8月に、「Forbes JAPAN 30 UNDER 30 2023」(世界を変える30歳未満)に選出されました。

2024年は、NHKの大河ドラマ「光る君へ」のテーマ音楽のピアノ演奏をされています。

2023年12月9日・10日、Sydney Conservatorium of Musicにて南半球初上陸のピアノコンサートを開催。両日、スタンディングオベーションが何度も起き、普段は考えられない5曲! ものアンコールを披露して下さいました。

その気になるアンコール曲は…

(9日)

- ・モーツァルト：トルコ行進曲
- ・グリーグ：トルドハウゲンの婚礼の日
- ・ショパン：小犬のワルツ
- ・シューマン/リスト：献呈
- ・ショパン：エチュード 10-1

(10日)

- ・ショパン：小犬のワルツ
- ・ショパン：エチュード op.25-12「大洋」
- ・ショパン：エチュード 10-1
- ・ショパン：ラルゴ
- ・シューマン/リスト：献呈



会場は、割れんばかりの拍手の渦でした。コンサートが終わってからも、ファンとの写真撮影やサイン、質問にも気軽に答えて下さいました。



2022年に幻冬舎より出版された『終止符のない人生』の話になり、「この本は、両親が音楽家でなくても、自分が音楽家になったことや、音楽家でない方にも楽しんで読んで貰えると思います」と話されていました。

このベストセラー本は、反田恭平氏のピアノリサイタルのシドニーデビューを記念して、紀伊国屋シドニー書店にて特別販売しています。

素晴らしいピアノ演奏を聞いたあとは、暫く余韻が残り、心地よい安らぎを感じました。今年も、来て頂きたいですね。



科学の小箱 ちよつと サイエンス

佐藤寿治



【第243回】 Providing is Preventing

大晦日が晴天に恵まれたシドニーでは、カウントダウンに続いた大輪の花火を堪能され、穏やかな新年を迎えられた方が多いことと推察します。一方、2時間の時差で年の改まった日本では、元旦から2日間連続して思いもかけなかった大災害に襲われ、覚悟を持ってProviding(備え)を講じない限り、付き纏う不安や憂いをPreventing(回避)できない真理を改めて目の当たりにしました。その後連日続く被災の実相を見るにつけ、地震災害に対する恐れと備えの重要さを再認識しました。それに合わせて戦争を筆頭とする人為的災厄に思いを馳せ、今年も世界規模で不幸の連鎖が拡大する懸念を新たにしました。更に各個人に降り懸かる不意を衝く多様な事故、隙あらば付け込もうと近寄る巧妙な陥穽にも油断大敵。未知なる病原菌やウイルスが引き起こす感染症、沸騰の域に達し勢いを早める気候温暖化の動向にも要注意。

元旦に発生した最初の大過は、最も手強く被害も深刻な直下型地震。石川県の能登半島一帯を襲い最大震度7を記録し『令和6年能登半島地震』と命名されています。警報に先だって発生した4mを超す津波も映像で記録され、近い将来襲来が想定されている震度7を超す首都圏直下型地震に類似しています。人口密集地で両者に大きな隔たりがあるにしても、同時に多いが故に気づき難い

問題の本質を浮き上がらせてもくれます。その一例として避難所の規模と施設両面に加え、水道や電気等の基幹ライフラインの容量に合わせた、二次避難先への遅滞ない差配も最重要な対策です。能登半島の場合、日本海に突き出た独特な地形故の、陸路が寸断された状況での移動の困難さが浮き彫りにされ、今後の復興活動に生かす有意義な前例となり得ます。緊急対応として試みられた、支援物資やショベルカーに代表される重機の遅滞ない搬入等、海上や空から試みられた多様な手法が今後整備され、常態化されるのを期待します。

能登半島地震に続いて、翌日夕刻に東京羽田空港の滑走路上で発生した災厄は、滑走路上で発生した航空機同士の衝撃的な衝突事故でした。事故状況は、滑走路上に侵入し40秒間停止していた海上補保安庁(以下“海保”と表記)の能登半島地震災害支援機に対し、着陸を試みた日本航空の大型旅客機エアバスA500-900型機(以下“日航A500”と表記)が追突。事故原因としては、天候や双方の機体に関する異変や異常報告がなく、航空管制官と事故機間の連絡指示の行違いによると考えられています。事故の概要は、海保機及び日航A500共に火災を起こし双方全焼。人的被害は対症的で、海保機の乗員6人のうち機長一人を残し5人が死亡したのに対し、日航A500の乗客と乗員379人全員が脱出シューターで延焼する機体から避難しています。

地震と航空機事故共に、発生に伴う人的及び物的被害を伴うことが避けられず、“Providing is Preventing”が常に求められ、支援態勢も改良されています。同時に災厄に立ち向かう当事者の向き合い方が、最終結果の良否を大きく左右するのも確かです。地震に対しては、住まい周辺の“ハザードマップ”から情報を心得、必需品の備蓄も必須。対する航空機対策は、沈着な精神状態を維持するためにも脱出訓練の体験がおすすめ。

スポーツ天国



No. 174



NRLの開幕戦がラスベガスで！

豪州で人気の13人制ラグビー(通称:ラグビーリーグ)の2024年度開幕戦が米国ラスベガスで行われます。

アメリカンフットボール(NFL)やメジャーリーグ(MBL)がシドニーで開催されたことはありましたが、オーストラリアの代表するスポーツの公式戦が米国本土で行われるのは画期的ですね。アメリカ人のフットボールのイメージは、ヘルメットやショルダーパッドなど、ガチガチに固めての肉弾戦ですが、NRLは、防具はなにも付けずに体当たりしていく…地元のインタ

ビューでは、「まったく信じられない！」を連発。

第一試合が、マンリー・シーイーグルス対サウスシドニー・ラビトーズ。第二試合が、シドニー・ルースターズ対ブリスベン・ブロンコス。会場は、6万5000人収容のドーム型スタジアム「アレジアント・スタジアム」です。アメリカ人は、どんな反応を示すのか？楽しみです。

会員の皆さんからの情報も受け付けています。Eメールは、kenerit@gmail.comです。よろしくお願ひします。(ぴか)



Killers of the Flower Moon

監督:マーティン・スコセッシ
原作:デイビッド・グラム 2017
脚本:エリック・ロス
音楽:ロビー・ロバートソン
出演:レオナルド・ディカプリオ、ロバート・デニーロ、リリー・グラッドストーン他
制作:2023年アメリカ
上映時間:206分
作品概要:



史実に基づいた同名の原作(ノンフィクション)をマーティン・スコセッシ監督が映画化。舞台は1920年代のオクラホマ。北米原住民のオーセージ族が伝統的に住む土地から原油が出たことから、彼らは「地球上最も金持ちの国」と呼ばれるほどの富を得るようになり、そのオイルマネーに白人の便乗主義者たちが群がるようになっていた。その土地で、何年にもわたって密かに、数多くのオーセージ族の主要メンバーや家族たちが原因不明の死を遂げていた事件に焦点を当てた作品。既に作品賞を含む7部門でゴールデングローブにノミネートされている。

ストーリー:第一次大戦から復員したアーネスト(ディカプリオ)はオクラホマの叔父(デニーロ)の元に身を寄せるが、叔父は地元で「キング」と呼ばれ、オーセージ族の後援者のような立場にあった。叔父の勧めもありアーネストはオーセージ族の一人モリー(グラッドストーン)を車でエスコートするようになるが…。映画はアーネストとモリーの関係と、彼らの周辺に起こる出来事を中心に描かれていく。

◎3時間半の映画があっという間に感じた作品でした。派手なアクションがあるわけでもなく、そしてディカプリオが演じるロマンスでもなく、あまり内容を書くにネタ切れになってしまうのでそれは避けたいと思いますが、たった100年前の事なのにこの様な事実があったことを知りませんでした。今回共演をしたのは名優ロバート・デニ

ーロとレオナルド・ディカプリオでした。見る者を全く裏切らない名演技は目の動かし方、眉の動かし方、そして唾を飲み込む喉仏などいたる所で見られました。加えてシンプルだけでもネイティブアメリカンの打楽器などの効果音も耳に残る映画でした。あまり人が語りたがらない、どちらかと言うと臭いものに蓋をするというのは日本人の特性なのかと思っていたのですが、アメリカにも同じような事があるんだと再認識できた映画でもありました。(おすすめ度:★★★★★ 青い鳥)

◎The Flower Moonとは、アメリカ原住民が花盛りの5月の満月のことをそう呼んでいたことによるそうです。アーネストに対するモリーの真心は、まさにFlower Moonのように豊穡で美しく輝いていました。しかし、次々と訪れる不幸な出来事に、彼女の顔から次第に輝きが失われていく様はあまりにも悲しく痛々しい。それを見事に演じたリリー・グラッドストーンはネイティブアメリカンの血を引く新しいスターです。それにしてもこのような悲しく醜い史実をテーマにした作品に正面から取り組んだスコセッシ監督は81歳にしてなお進取の気性に富んで素晴らしいと思いました。決して自らの過去の栄光やノスタルジーに浸らず、80才を超えてなおもひたすら新しい視点から映画作りに取り組む姿勢はやはり世界の大監督!人間、絶対に年齢じゃないですね。いくつになってもいかに前向きに学び続けられるかでしょう。アメリカの歴史を新たな切り口で見せてくれたスコセッシ監督に感謝です。(おすすめ度:★★★★★ さかな)

◎<※ネタバレ注意>オイルマネーで浮ついた街に集まる白人の質の低さが恐ろしかったです。欲深く、口のうまい有力者キング(デニーロ)はそんな彼らを巧みに操り、脅し、陥れ、自分がより多くの富を手に入れるためには手段を選ばません。キングの圧倒的な威圧感の前に単細胞な男たちは、明らかに凶悪な計画でもいとも簡単に加担してしまいます。ほんのはした金のために男たちが危ない仕事を引き受けてしまうシーンで、東南アジアを拠点とした日本の特殊詐欺事件を思い出しました。特殊詐欺事件でも実行犯たちはSNSの指示だけで最も危険な仕事を請け負ったり、全く分け前にありつけなかったりして、馬鹿馬鹿しいほど考え足らずで暴力的でした。リリー・グラッドストーン演じるモリーは顔だち、体形、声やその醸し出す落ち着いた上品な雰囲気素晴らしかったです。観察眼が鋭く聡明なモリーは当然アーネスト(ディカプリオ)の野望にも気が付いていたのでは、と思います。叔父のキングに頭が上がらないアーネストは愛するモリーとその一族が悲惨な目に遭っているのに葛藤や苦悩するどころか、信念もなく流されてばかりで本当に腹が立ちます。あまりの演技力の高さにディカプリオが嫌いになってしまいそうです。

(おすすめ度:★★★★★ ひまわり)





仏教語からできた 日本語 その210

渡部重信
sydneyhongwanji@gmail.com
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長



法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 194

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)

阿吽(あうん)

覚えていらっしゃる方もいるかと思いますが、向田邦子の小説に『あ・うん』という長編小説がありました。昭和初期、つましい暮らしをする一介のサラリーマン・仙吉と軍需関連企業を営む左うちわの門倉との友情を描いています。今の時代ではちょっと受け入れられないような二人を取り巻く人間関係の部分もうまく描きあげ、とにかく二人の気持ちがピタッと一致し、まるで神社の鳥居に並んだ一對の狛犬のように親密な日常生活の様子を読み取ることのできる秀作でした。作者は狛犬について「同じように見えるが口の形が違う。一頭は阿であり、一頭は吽である」と説明しています。

狛犬だけではなく、寺院の仁王門に立って仏法を守護する金剛力士像も、向かって右が口を開いた「阿形(あぎょう)」を、もう一方は口を閉じた「吽形(うんぎょう)」を表しています。

そもそも阿吽は、仏教とともに日本に伝えられた梵字(悉曇・サンスクリットを表記するための文字)の「a(ア)」と「hum(フーン)」とを漢字で音写したもので、「阿」は口を開いて発音し、「吽」は口を閉じて発する声で、その意味については色々解説されています。

仏典では「阿吽の二字、出入の息風」(『悉曇(しったん)三密鈔』)と説いています。有名な歌舞伎十八番『勸進帳』では、

富樫「出で入る息は」

弁慶「阿吽の二字」

の名問答があります。阿は吐く息、吽は吸う息です。それらを合わせて「阿吽の呼吸」と言っています。それがやがて相撲の仕切りなど、何かを一緒に行う時に、互いの微妙なタイミングやリズムがピッタリ合うことを言い表す言葉となったのでした。

梵字の配列では、この阿と吽が、最初と最後の文字として表されていますので、阿が物事の始まり、そして吽がその終わりとを意味するようになりました。密教では、一切万有の発生する根源と、その帰着する究極を象徴しています。また、阿字・吽字に深い意味を認め、阿は悟りを求める菩提心を、吽はその結果としての涅槃を意味するものとも説明されています。このように阿吽は、相対する二つのもの、一對のものを表現する語として様々な解釈されていますが、要するに物事の始めと終わりというふうに理解したら良いかと思います。

年の初めにあたりまして、一年後の自分の姿に思いを馳せるのもまた大事ではないかと思います。それと同時に「出る息は入る息を待たない」と言いますように、生きているこの一瞬一瞬にいのちの尊さを観じたいものです。合掌

Q: オーストラリアで結婚して11年になります。現在、妻と離婚を前提に婚姻財産の分配について話し合っています。結婚して2年後に、現在住むアパートを購入する際、妻の父より20万ドル近く購入資金の援助を受けました。今になって義父がその元本及び利子の支払いを請求してきました。3年前に義父の会社が資金難に陥った時、銀行からの借り入れの担保のため、私は義父と連帯して個人保証人になりました。その保証で今回の20万ドルを帳消しにできないでしょうか？ また、離婚が決まっている今、妻一家とは今後一切かわりを持ちたくないため、個人保証を取り消してもらうことは可能ですか？

A: お義父様は、9年前に行った約20万ドルの資金援助は貸付金であったと主張されているのだと思います。その主張の根拠となる証拠、例えば契約書や合意書、場合によっては貸付を裏付ける手紙やメールのやり取りがありますか？ ある場合には、その内容を確認する必要があります。そのような証拠がない場合には、相談者はどのような意図でその援助を受けたのかが重要になります。

もし資金援助がお義父様からの贈与であった場合には返済する義務はありませんが、資金援助が贈与であったということを立証しなければなりません。例えば、その当時のお義父様とのやり取りにおいて、「この資金は返す必要はないから、自由に使ってくれ」等といったものが残っていれば、贈与を立証する上で有利です。他方、あなたからお義父様に対し、「資金援助有難うございました。将来必ずお返しします」等というようなやり取りがあれば、資金援助は貸付金であったという色彩が強くなります。また、資金援助を受けてから今まで金利など一切お義父様に支払っておらず、また、お義父様から何ら金利払いや元本返済の催促がなかったとすれば、資金援助は贈与であった可能性が高くなります。従い、お義父様からの資金援助が貸付または贈与であったかは、それら証拠となる事実関係を吟味する必要があります。

個人保証の問題は資金援助とは別々に考えるべきです。相談者が個人保証をしている相手は銀行なので、たとえお義父様が帳消しにするといったところで、あなたの保証人としての銀行に対する責任は消えません。個人保証から解除されるためには、その個人保証書を確認する必要がありますが、銀行が扱う一般的なものであれば、おそらく銀行の同意なく個人保証を外すことはできないと思います。通常、銀行は個人保証を外しても、十分な貸付金に対する担保が存在しない限り同意しないでしょう。従い、銀行に事情を説明し、個人保証解除の打診をすることを勧めます。

●今月の表紙 Mrs Bon Bay

以前、とある自動車メーカーの仕事で、環境保全キャンペーンに関する写真を大量に撮る必要があった。そこで、オーストラリアでまだ行ったことのない景色を探しに、都合4日間、クルマの中で仮眠をとりながら3000kmほどのドライブをした。その道中で立ち寄ったこのMrs Bon Bayは、ヴィクトリア州にあるLake Eildon(515kmもの海岸線を持つ湖)の北部に位置する、少し寂しげな、荒涼としたほとりだ。周囲に人の気配は一切なく、僕はこの場所で星降る深夜まで、その色付いては変わってゆく空と大地に眼を奪われながら、数百枚の写真撮影を続けた。

写真●Aki/小野一秋 フォトグラファー/CMディレクター/AKIPAN オーナー
Website: kazuakiono.com Bakery: akipan.com.au Instagram: aki.akipan



編集後記

▼21世紀が始まって以来、世界が再び急激に宇宙への関心を持ち始めたと感じませんか？NASAとイーロン・マスクが取り組む火星移住計画をはじめとして、中国やインドも宇宙開発にどんどん参入してきています。一方で、地球人以外の生命体への探求も、ボイジャー計画以来努力は続けられてきましたが、残念ながら未だごく微小な生命体の存在すら「確認」するまでには至ってはいません。しかし私自身は知的な地球外生命体の存在は、必ずあると信じています。無限に広がる宇宙の可能性の中で、地球にしか生命体が存在しないと考える方が非現実的に思えるからです。多分彼らは、もう何十億年も昔から地球を「観察」し、人間の成長を静かに見守っているのではないのでしょうか。いつか人類の準備ができて、宇宙人が姿を現しても決していきなり攻撃したりしないくらいには平和な成長を遂げることを心待ちにしつつ…。これだけ宇宙に関心が向き始めた現在、いづれ近いうちにそんな彼らとのFirst Encounterがあるんじゃないかと、想像しつつ、平和への祈りを込めて夜空の星を見上げる年の暮れです。(さかな)

シドニー日本クラブ役員

名誉会長	徳田 修一(在シドニー日本国総領事)
相談役	Chalker 和子
会長	渡部 重信
副会長	Costello 久恵
副会長	水越 有史郎
理事	阿部 直子
理事	斉藤 なお子
理事	Hodgkinson 恭子
専門理事	林 さゆり(親睦の会会長)
専門理事	Murn 薫(編集委員会編集長)
専門理事	Costello 久恵(シティ校代表)
専門理事	小柳 淳子(ダンダス校代表)
専門理事	水越 有史郎(教育支援委員会・エッジクリフ校代表)
事務局	松隈 由紀子(事務局長)・Richter 幸子(会計)
監事	岩佐 いずみ(会計監査)・多田 将祐(会計監査)
クラブ代表	シドニーソーラン踊り隊(渡部 重信)
	JCSフラアロハ(Gault 良子)
	ソフトボール部(安達定儀 <small>さだのり</small>)
編集委員会	マーン薫(編集長)・渡部重信・水越有史郎
	西牟田佳奈・佐藤 薫・大塚藤子・林由紀夫・多田将祐
	坂口 潤・斉藤なお子・大塚るる・松下友紀



投稿原稿募集!

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、マーン薫編集長宛に、またはJCS事務局宛に、Email(k.murn@jcs.org.au)か郵送にてお送りください。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052(9時~18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org(松隈由紀子)まで。

会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。
ぜひ、ご利用ください。



Japan Club of Sydney

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting
Suite 2, Level 2, 88 Pitt Street, Sydney 2000
Phone: (02) 9223-7448
E-mail: info@taxjp.com.au
新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターンの申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

日本ブレンセンターオーストラリア(NBCA)

Suite 23, 9 Milray Street, Lindfield 2070
Phone: 0404-027-407
Email: yamaguchi@nbca.com.au www.nbca.com.au
担当: 人材 加藤、ビザ・翻訳 山口

ビザ・市民権の申請、オーストラリアの出国許可、移民局に提出する戸籍謄本と書類の英語への翻訳をJCSの会員の皆様には20%割引で承っております。長期短期の人材紹介及び人材登録をきめ細かくお世話させていただいております。皆様のご連絡をお待ちしております。

ほんだらけフル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool Street, Sydney 2000
Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com
Website: http://fullofbooks.com.au

シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べる嬉しい店内在庫8万点をご用意しています。買い取りも随時受付中。

JCS会員の方へは、本・CD・DVDのお買い上げを5%特別割引致します。JCS年会費支払いのコピーをご提示下さい。(セール商品や化粧品など一部除きます、ご了承下さい)

そらまめ

Email: classes@soramame.com.au
www.soramame.com.au
Mobile: 0402-961-907

そらまめは、マクロビオティックのクッキングクラスや個人の献立プラン、コンサルテーションも承ります。JCS会員の方には、クッキングクラスとコンサルテーションの費用から1名様\$10割引をいたしますので、お申込みの際にお知らせください。お申込み、お問合せはウェブサイト、またはEmailでお気軽に♪

本誌広告案内

広告締切は毎月15日です。広告(掲載できるアートワーク)を、メールか郵送で、jcs@japanclubofsydney.orgまたはPO Box 1690, Chatswood NSW 2057まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1ページ	横18cm×縦27.0cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1/2ページ	横18cm×縦13.2cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1/3ページ	横18cm×縦8.6cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1/6ページ	横8.7cm×縦8.6cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)

広告を申し込む際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、完成された広告(正しい広告サイズで、読みやすく仕上がったアートワーク)を、事務局宛に郵送かメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。

※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

会費納入 料金

■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」をお願いいたします。

郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

■会費納入届または広告原稿を郵送またはメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。

振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156

支払方法